

## ハイビジョン映像「日本は森の国」の概要

千年の森の東屋で上映するハイビジョン映像「日本は森の国」シリーズ五話を制作。平成15年春より映像制作計画を立案、平成16年初春より撮影開始。以下の撮影を行う。

### 撮影地と祭り行事名

奈良吉野水分神社・お田植祭 / 奈良飛鳥坐神社・おんだ祭 / 奈良六県神社・子出来祭 / 長野諏訪大社・御柱祭 / 奈良大神神社・鎮花祭・鏡道祭 / 奈良率川神社・三枝祭 / 奈良龍田大社・風鎮祭 / 山口弥栄神社・鷲舞 / 愛媛和霊神社・牛鬼 / 岩手早池峰神社・権現舞 / 長野望月町大伴神社・榊神輿 / 長野鎌の宮諏訪神社 / 鎌打ち神事 / 奥三河古戸白山神社・お玉の舞・十五童の舞 / 熊本八代妙見宮・八代妙見祭亀蛇 / 宮崎椎葉・十根川神楽 / 埼玉秩父神社・秩父夜祭 / 福島隠津島神社・木幡幡祭と羽山ごもり / 津軽岩木山神社・お山参詣 / 青森松緑神道大和山・青垣山 / 宮城気仙沼湾・牡蠣の海・室根山・海は森の恋人植樹祭 / 襟裳岬・緑化事業地 / 明治神宮 / 伊勢神宮

### 作品紹介

#### 第一話 籠もりくの大和（17分）

ヤマトタケルノが詠んだ望郷の歌「やまとは国のまほろば たたなづく青垣 山こもれる大和し うるわし」古事記にある古い歌である。こもれる大和と表現された大和の自然は、籠もりと子守りの理念によってつくられた宗教的な稲作風土であった。稲魂を赤子と見立て健やかな成長を祈り、風水害や疫病から守るための祭祀や稲作の予祝芸能を伝える意味を問うた作品。

#### 第二話 森のまつり（27分）

祭りとは、神饌をタテマツリ、饗宴を催すことにある。山や森、岩や水などに暮らしを守る神を見い出してきた日本人独特の自然観と、その表れとしての神事芸能の意味を、日本各地で行われている山里の祭りに見る。命の健やかな成長と一人前になるための試練が祭りの本質的な意味を示していることを描いた作品。

#### 第三話 神の木 神の森（17分）

巨木や御神木に掛けられた注連縄。神宿る木に霊気を感じ、その大きな力を信じ、様々な儀礼や神事、祭りを伝えてきた。また入らずの森と呼ばれる古社気多大社の森の中での神事、大和の三輪山をめぐる大晦日の火祭り、古くから続く諏訪大社の御柱祭。古代からの木への信仰と神の森の聖性とその価値を問う作品。

#### 第四話 森と現代文明（14分）

近江平野の鎮守の森を分断し走る新幹線、東海道線。柳田國男や南方熊楠の神社整理への抵抗運動も実り薄く、現代に至っては、都市計画法により小学校の校庭に抛出された氣比神社の聖地。鎮守の森への産業廃棄物投棄など、長い間人々の心のよりどころであったはずの鎮守の森をめぐる危機的な状況から、鎮守の森の現状とその大切さを描いた作品。

#### 第五話 森をつくる話（17分）

地球環境の危機が叫ばれているなか、気仙沼漁民による植林事業、北海道襟裳岬緑化事業、広島爆心地の鎮守の森の再建などの活動を通じて、私たちのところと風土と暮らしを再生してきた生命豊かな神の杜のこれからを考える作品。